日本病院 DX 推進協会アワード 2026
募集要項

1．開催趣旨

本アワードは、医療現場におけるデジタル変革（DX）の優れた取組を顕彰し、広く共有することを目的とします。医療機関による自律的な変革と、それを支える企業の技術革新を等しく評価し、日本の医療の質向上と持続可能な経営を実現する「最良のモデル」を選出します。

2．応募対象

一般社団法人 日本病院 DX 推進協会の会員（病院会員、協賛会員、企業会員）

・各団体単独での応募に限ります。

・応募時点で入会手続中である場合も対象に含みます。

3．表彰内容

病院 DX アワード（大賞・優秀賞）

全ての応募の中から、下記の評価基準に基づき総合的に優れた団体を表彰します。

なお、受賞団体には、年 2 回の学生を対象としたスクールを実施いただきます。こちらの費用として 10 万円を支援させていただきます。

4．審査基準

以下の 7 つの評価指標に基づき、多角的に評価します。

評価指標	評価の視点
1. 革新性・独創性	課題設定の鋭さ、技術活用の新しさ、業界への先駆性
2. 汎用性・持続性	他施設への展開可能性、標準規格への準拠、運用の継続性
3. 経済性・生産性	費用対効果の明確化、人的リソースの最適化（負担軽減）
4. 安全性・管理体制	医療安全への寄与、情報保護の徹底、AI 活用の妥当性
5. 実効性・現場定着	多職種による活用実績、現場の満足度、改善プロセスの有無
6. 患者価値の創出	患者の利便性・安心感の向上、信頼関係の構築への寄与
7. データ活用戦略	蓄積されたデータの正確性と、意思決定への具体的な活用

5. 応募要件・提出資料

2026 年の応募受付は終了いたしました。

6. 審査プロセス

1. **一次審査（書類選考）**
   応募総数が多い場合、ご提出いただいたプレゼン資料をもとに事前審査を行います。
2. **最終審査・結果発表**
   2026 年 10 月 9 日（金）開催の「総会 2026」にて、ファイナリストによるプレゼンテーションを実施します。
   投票権を持つ会員による当日投票にて、即時受賞者を決定・表彰いたします。
   当日のプレゼンテーションは、10 分程度を予定しております。

7. スケジュール

応 募 エントリー期 間 : 2026 年 8 月 7 日(金)
プレゼン資料提出締切: 2026 年 8 月 14 日（金）
一 次 審 査 実 施 期 間 : 2026 年 8 月中旬 9 月中下旬
最 終 審 査 ・ 表 彰 式 : 2026 年 10 月 9 日（金）「総会 2026」会場にて

8. お問い合わせ・事務局

一般社団法人 日本病院 DX 推進協会 事務局
アワード運営事務局：koho@jhdxa.onmicrosoft.com
ウェブサイト：https://jhdxa.or.jp/

病院 DX アワード 2026 審査基準

1. 革新性・独創性（Innovation）

- **本質的な課題解決**
  既存業務の単なる電子化に留まらず、医療現場の潜在的な課題に対し、従来とは異なる新たなアプローチで解決を図っているか。
- **技術活用の高度化**
  先端技術（AI、IoT、ロボティクス等）を、その特性を活かして効果的に組み合わせ、高度な運用を実現しているか。
- **業界への先駆性**
  他施設に先駆けた独自の取り組みであり、医療業界全体へ新たな指針を示す価値があるか。

2. 汎用性・持続可能性（Scalability & Sustainability）

- **他施設への展開可能性**
  病院の規模や専門性を問わず、他の医療機関でも応用・導入が可能なモデルとなっているか。
- **標準化への準拠**
  将来的な外部連携を見据え、業界の標準規格（FHIR 等）に準拠したシステム構成となっているか。
- **運用の継続性**
  導入後の保守管理や職員教育の負担が最適化されており、組織として安定的に継続できる仕組みか。

3. 経済性・生産性（Economics & Productivity）

- **費用対効果の明確化**
  投入した費用に対し、コスト削減、収益向上、または業務時間の短縮といった定量的な成果が明確に示されているか。
- **人的リソースの最適化**
  医師・看護師等の専門職が、本来の業務に注力できる環境（タスク・シフト、働き方改革等）をどれだけ創出できているか。
- **地域医療への寄与**
  自院の効率化だけでなく、地域医療連携や救急搬送の円滑化など、地域全体の経済的・機能的メリットに繋がっているか。

4. 安全性・ガバナンス（Safety & Governance）

- **医療安全の向上**
  リスクの早期発見やヒューマンエラーの防止など、医療安全の質を高める具体的な実績があるか。
- **情報セキュリティの徹底**
  個人情報保護、サイバー攻撃対策、アクセス権限管理など、強固な管理体制が構築されているか。
- **技術活用の妥当性**
  AI 等の技術を利用する際、その判断根拠の透明性を確保し、人間による適切な管理（ガバナンス）が行われているか。

5. 実効性・現場定着度（Adoption）

- **多職種による活用実績**
  一部の担当者に依存せず、医師・看護師・事務等の多職種が日常業務の中に深く定着させているか。
- **現場満足度と改善プロセス**
  利用者の声を収集・分析し、使い勝手を向上させるための改善サイクル（PDCA）が機能しているか。

6. 患者価値・体験（Patient Value）

- **利便性と満足度の向上**
  待ち時間の短縮、手続きの簡略化、情報提供の充実など、患者視点でのサービス品質が向上しているか。
- **安心感と信頼の構築**
  インフォームド・コンセント（説明と同意）の質の向上など、患者・家族との信頼関係を深める工夫があるか。

7. データ活用・戦略性（Data Utilization）

- **データ駆動型経営の実現**
  蓄積されたデータを単なる記録として終わらせず、経営判断や臨床の質向上に向けた意思決定に活用しているか。
- **データの整合性と鮮度**
  活用されるデータの正確性、網羅性、およびリアルタイム性が担保されているか。

審査スコアリング表

評価項目	評価の視点	配点
革新性・独創性	課題設定の鋭さと、技術活用の新しさ	/20
汎用性・持続性	他院への展開しやすさと、継続できる体制	/15
経済性・生産性	費用対効果と、業務負担の軽減実績	/15
安全性・管理体制	医療安全への寄与と、情報保護の徹底	/15
実効性・現場定着	現場での活用率と、多職種への浸透	/15
患者価値の創出	患者の利便性向上と、安心感への寄与	/10
データ活用戦略	データを活用した経営・診療の高度化	/10
合計		**/100**